

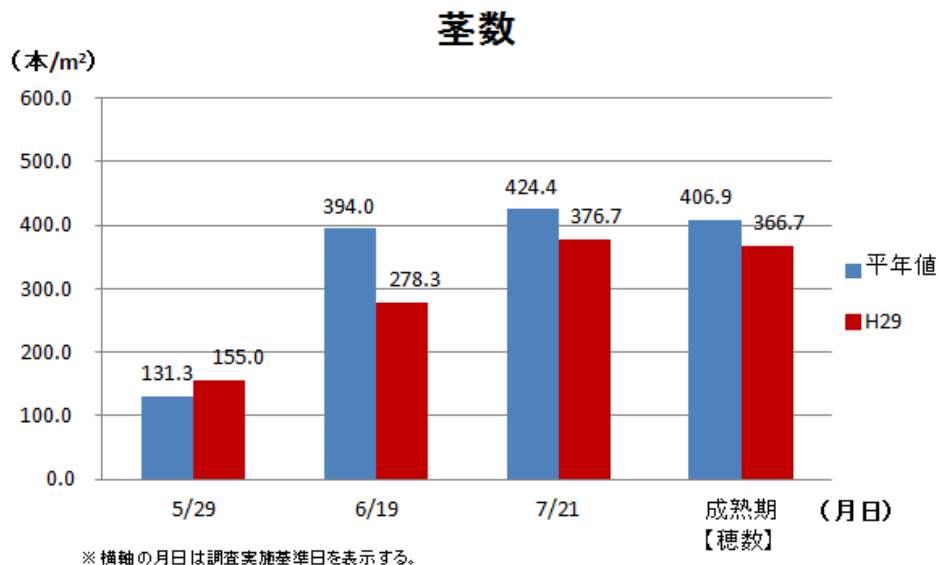
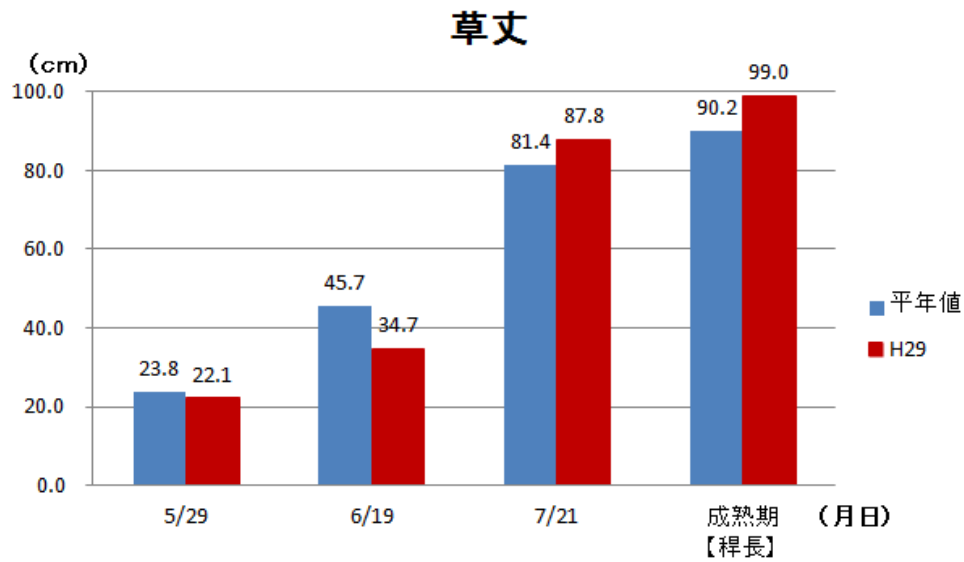
# 平成 29 年度 農作物（水稲）モニター事業調査結果(第 5 回)

本県NOSA Iでは、水稲の生育状況を調査し、気象・病虫害発生状況などの基礎情報を継続的に観測して、県内水稲の作柄や被害発生状況の把握に務めています。

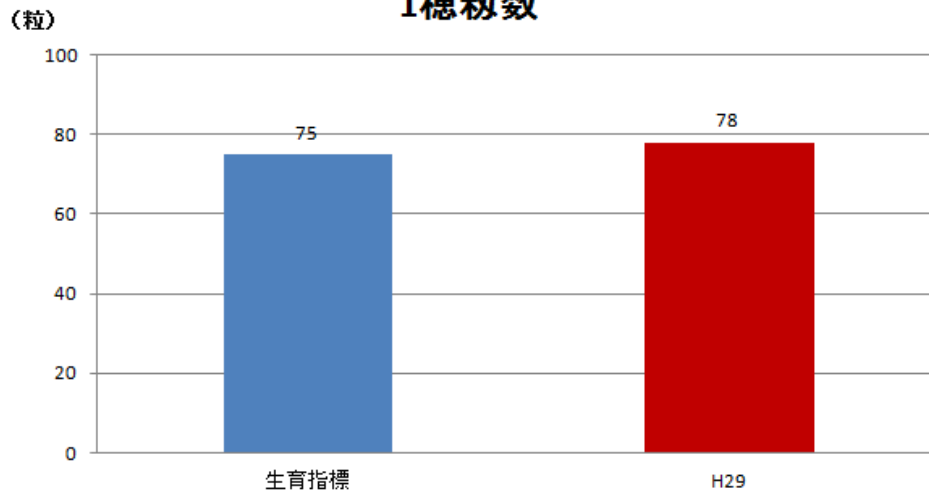
## 1. 水稲の生育および収量調査結果

### 1) 水戸市の調査結果

品種	移植日	生育調査日	収量調査日
コシヒカリ	5月14日	9月13日	10月13日

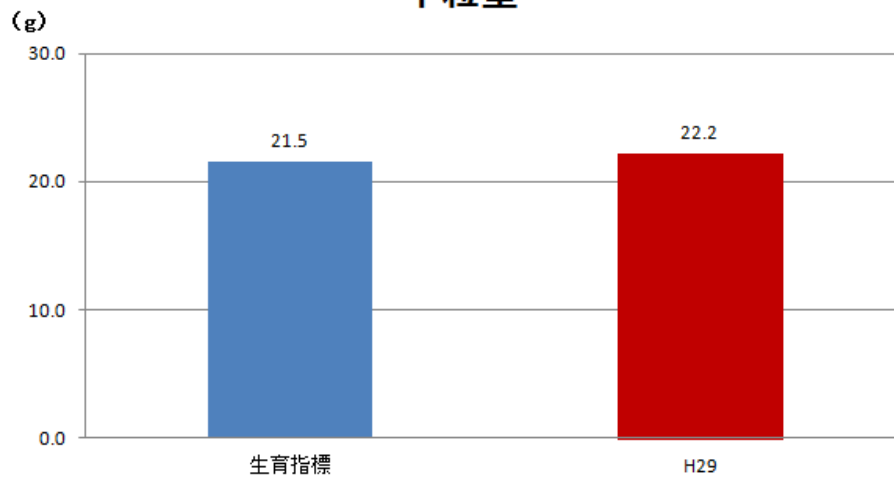


## 1穂粒数



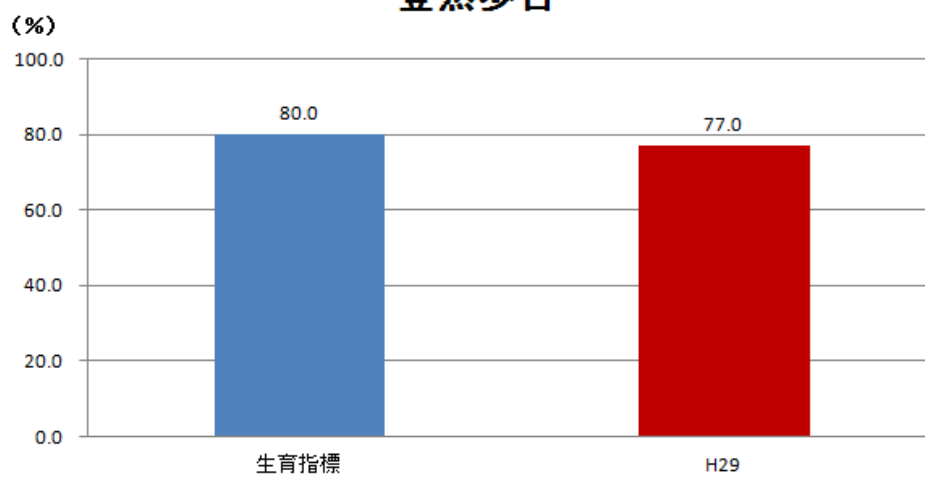
※【コシヒカリの生育指標】を用いた。

## 千粒重



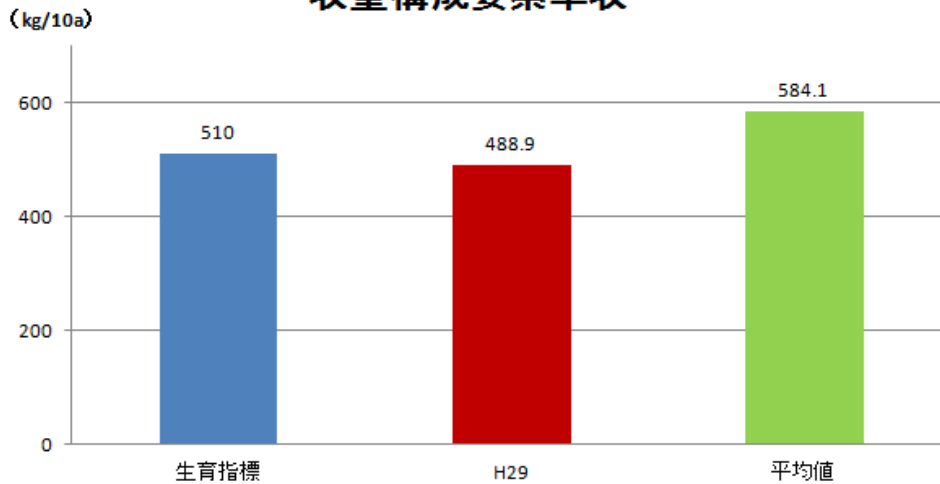
※【コシヒカリの生育指標】を用いた。

## 登熟歩合



※【コシヒカリの生育指標】を用いた

## 収量構成要素単収



※【コシヒカリの生育指標】を用いた

○平年値は平成 24～28 年の 5 年間の平均値

### ○生育調査結果について

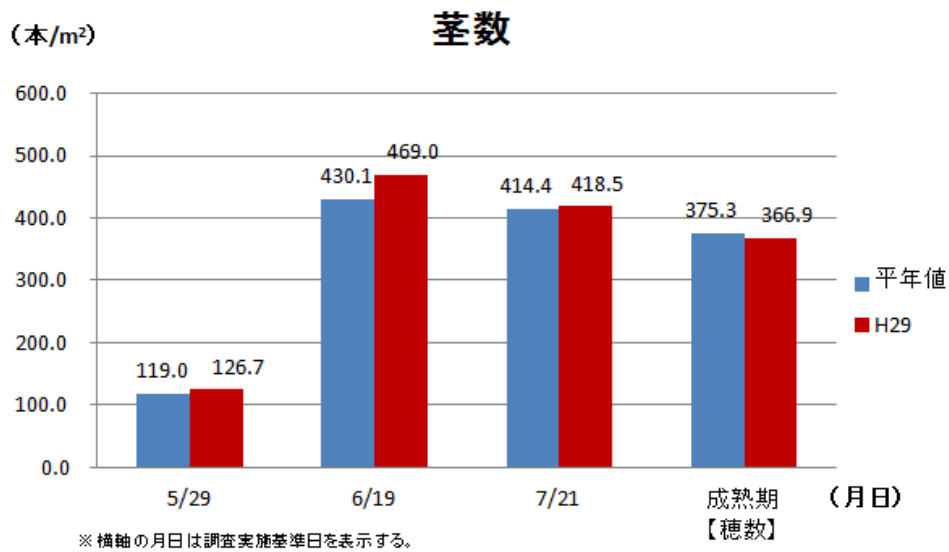
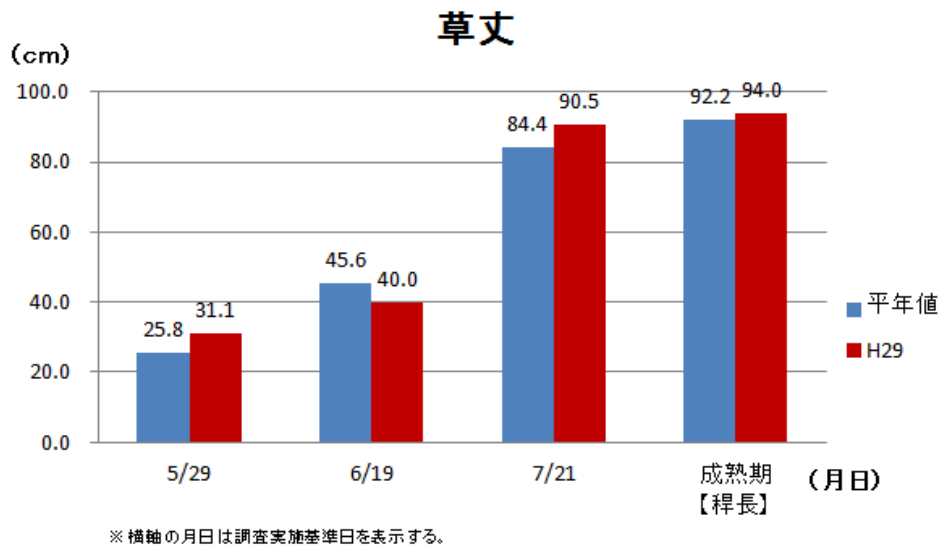
草丈は、6月の調査では平年より極低かったものの、7月に入り高温、多日照で推移したため7月の調査では、平年よりやや高くなりました。稈長もやや高くなりました。茎数は少ない～やや少なくて推移しましたが、最終的に穂数は平年並みとなりました。しかし平年よりも穂数が少なく、目標の㎡当たり穂数 400 本を下回っていますので、今年の栽培管理について振り返りをお願いします。

### ○収量調査結果について

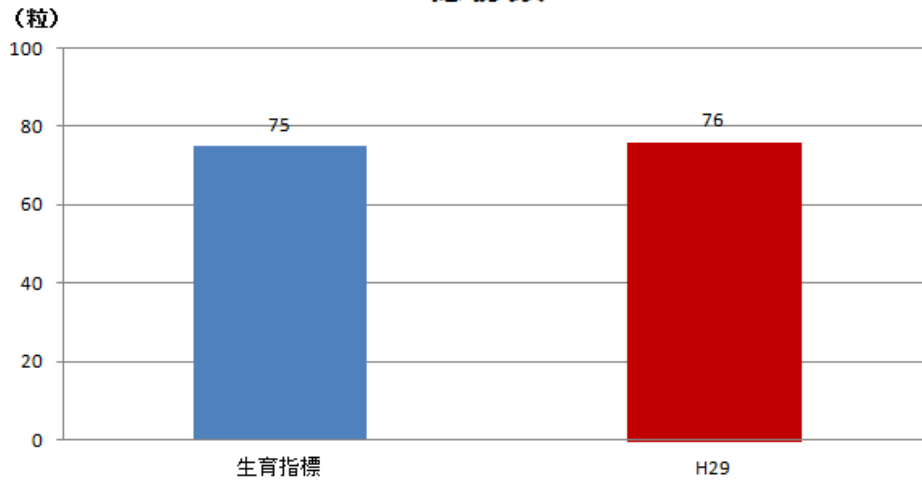
㎡当たりの穂数が少ないことが、収量構成要素単収を下げています。登熟歩合が低いのは、今年の登熟期間中の日照時間が少なかったためと思われます。生育調査の結果を見ると、6月調査までの茎数が少ないことが、最終的な穂数に大きく影響しています。

## 2) 茨城町の調査結果

品種	移植日	生育調査日	収量調査日
コシヒカリ	5月14日	9月13日	10月13日

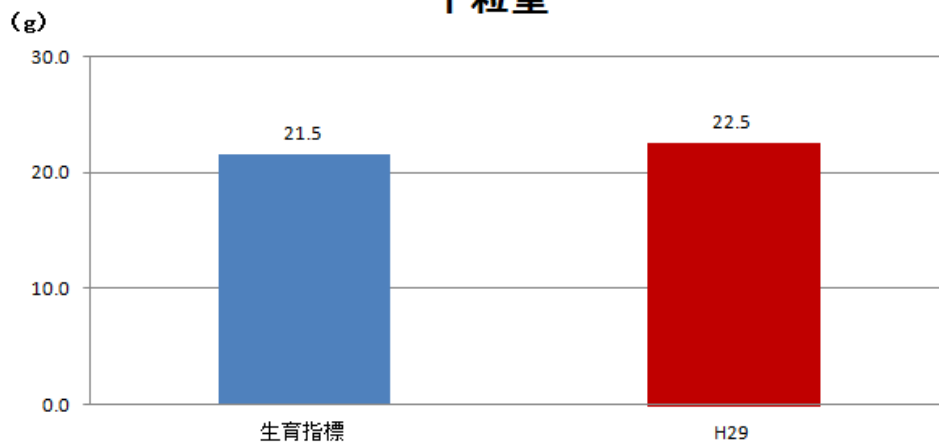


## 1穂粒数



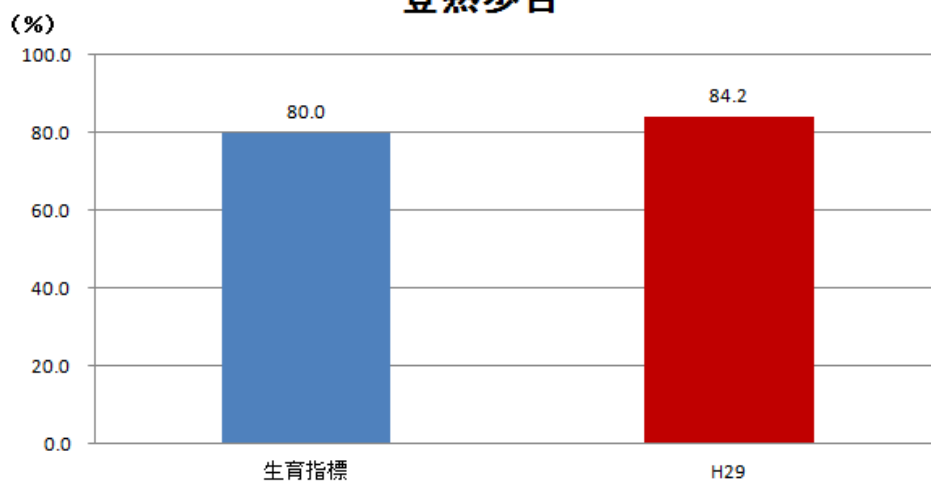
※【コシヒカリの生育指標】を用いた。

## 千粒重



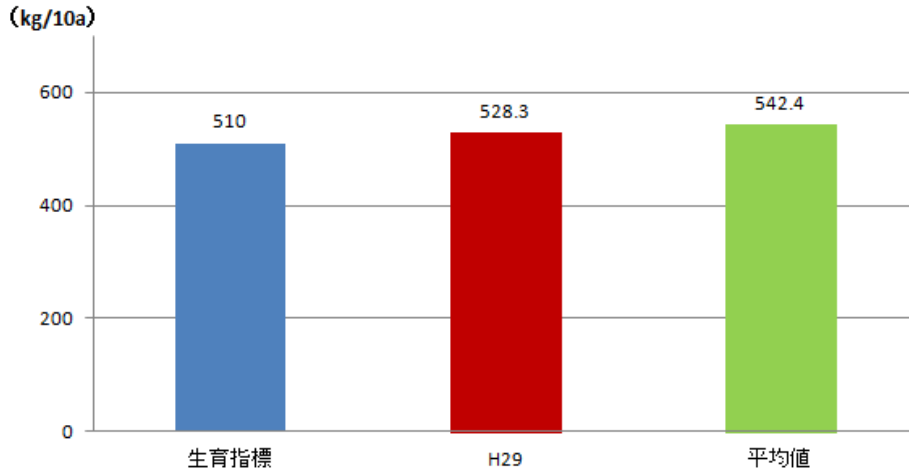
※【コシヒカリの生育指標】を用いた。

## 登熟歩合



※【コシヒカリの生育指標】を用いた。

## 収量構成要素単収



※【コシヒカリの生育指標】を用いた。

○平年値は平成 24～28 年の 5 年間の平均値

### ○生育調査結果について

草丈は、6月の調査では平年より低かったものの、7月に入り高温、多日照で推移したため7月の調査では、平年よりも高くなりました。最終的に稈長は平年並となりました。茎数は、6月の調査では平年を上回っていましたが、穂数は平年並みとなり、目標の㎡当たり400本を満たない状況でした。平年値を見ても穂数は目標値を下回っているため、若干の基肥増肥も検討下さい。

### ○収量調査結果について

㎡当たりの穂数が、指標よりも少ないものの、千粒重は重く、登熟歩合も高いため収量は指標値を上回る結果となりました。今年は成熟期間中の日照時間が少なく登熟歩合が低い傾向にあるため、登熟歩合が高い当圃場の収量は多いと思われます。さらに収量を向上させるためには、有効茎歩合を高める（穂数の確保）必要があります。

## 2. 次回調査予定日

平成 29 年度の農作物（水稻）モニター事業調査は今回で終了です。来年度も引き続き調査を行い、県内水稻の作柄や被害発生状況の把握に努めてまいります。

茨城県農業共済組合連合会調べ  
協力：茨城県農業総合センター